



芸術の秋に音楽と心が響き合う ～山陽小野田市小中学校音楽会～

11月5日・6日、不二輸送機ホールで、山陽小野田市小中学校音楽会が開催されました。5日の小学校部門では、「まくあけのとき」のさわやかな歌声とともに開幕し、子どもたちは、日ごろの練習の成果を発揮しようと一生懸命に演奏を繰り広げました。歌唱では、歌詞の世界を伝えようと、よく響く声と美しいハーモニーで合唱し、合奏では指揮に集中し、心と音楽を合わせ、迫力ある演奏を繰り広げました。6日の中学校部門では、各校の代表の合唱が披露され、男声加わる混声合唱では、力強い歌声がホールに響きわたり、堂々とした態度が音楽を引き立てました。吹奏楽では、各校の得意な曲を表情豊かに届けました。学校ごとの特色を前面に押し出した圧巻の演奏に、会場は割れんばかりの拍手が起こっていました。音楽の奥深さと楽しさを、みんなで作りあげた芸術の秋の一日となりました。



【問い合わせ先】学校教育課（☎82-1201）

観光ガイド 山陽小野田 検定クイズ

わがまち「山陽小野田」のことをみなさんはどれだけ知っているか、問題にチャレンジしてみてください。

Q81

刈屋漁港の波止場に建っている立派な常夜灯の高さは、次のうちのどれでしょうか？



- ① 9.58m ② 6.58m ③ 3.58m

Q82

「塚の川古墳」の正しい読み方は、次のうちどれでしょうか？



- ① つかのかわこふん
② つかのこうこふん
③ つかのがわこふん

※解答と解説は1月1日号に掲載します。

前回の解答と解説

A79. ②吉田 松陰

前原一誠は松下村塾に入り、吉田松陰に師事した際、松陰からその人柄を「勇あり、知あり、誠実人に過ぐ」と称され愛されました。

A80. ②地球と人の和

本市の市章は「山」と「小」の融合で、全体が地球と人の和をかたどり、「心豊かで潤いと活力に満ち、自然と共生した住みよいまち」をめざし、未来への飛躍と安定、市民の一体感を表しています。

山陽小野田観光協会（観光課内 ☎82-1151）

理大つうしん No.76

Tokyo University of Science Yamaguchi

11月4日・5日の2日間にわたって、今年2回目の「キャンパスクリーンキャンペーン」を実施しました。

これは環境教育の一環として、学生と教職員で大学構内と周辺の清掃を行い、喫煙マナーや環境配慮活動の重要性を認識し、社会奉仕の精神を身に付けることを目的に毎年複数回開催しているものです。

2日間を通して、学生、教職員ともに多数の参加者があり、道端に落ちているゴミやタバコの吸い殻などを回収しました。

<http://www.yama.tus.ac.jp>

キャンパスクリーンキャンペーン

落ちていたゴミの量も徐々に少なくなっていますが、参加者は目を凝らしながら、小さなゴミも見逃すことなく回収しました。学内に戻ってからはゴミを分別するなど、環境美化への意識を高めていました。

本学では、このような取り組みを通じて、環境に優しいキャンパスづくりをこれからも続けていきます。

